

令和 3 年 2 月 3 日

岐阜信用金庫  
理事長 住田裕綱

**信金中央金庫地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」  
寄附金・感謝状贈呈式について**

岐阜信用金庫（理事長 住田裕綱）は、信金中央金庫（理事長 柴田弘之）【創立 70 周年記念事業】地域創生推進スキーム「SCB ふるさと応援団」への岐阜市申請を推薦支援し、昨年 12 月 25 日に岐阜市が実施する地方創生事業が寄付対象事業として決定しました。

この度、同スキームにおける寄附金・感謝状贈呈式を岐阜市役所で行いましたのでご報告します。

記

日 時 令和 3 年 2 月 2 日（火） 13：30～

場 所 岐阜市役所 市長応接室

寄附事業 誰もが個性豊かに輝くことのできる「不登校特例校」の設置による  
未来の担い手づくり事業（草潤中学校）

寄附金額 1,000 万円



出席者

信金中央金庫理事 名古屋支店長	花岡 隆司（寄附者）
岐阜信用金庫 理事長	住田 裕綱（推薦者）
岐阜市長	柴橋 正直

### ■岐阜市との地方創生とSDGsの推進に関する連携協定

当金庫と岐阜市は平成28年2月に「地方創生の推進に関する連携協定」を締結し、令和2年3月にはこれを「地方創生とSDGsの推進に関する連携協定」として深化させ、協働して地域の課題解決、経済の活性化、SDGs（持続可能な開発目標）の推進等に取り組んでおり、本推薦支援は同協定に基づいたものです。

### ■信金中央金庫【創立70周年事業】地域創生推進スキームSCBふるさと応援団とは

本スキームはSDGsを踏まえ、信金中央金庫が企業版ふるさと納税等を活用した寄附を地方自治体に行うことにより、地域の課題解決および持続可能な社会の実現に資する地域創生事業を信用金庫とともに応援し、もって、地域経済の発展に貢献することを目的としています。

### ■岐阜市が寄附を受ける地域創生事業

**「誰もが個性豊かに輝くことのできる「不登校特例校」の設置による未来の担い手づくり事業」とは**

令和3年4月に岐阜市では、SDGs及び教育機会確保法（2015年施行）の考え方にに基づき、あらゆる教育の機会を提供することで、誰ひとり取り残されない社会の実現を目指すため、独自の学びの場のセーフティネットの場の一つとして、自由度の高い特別カリキュラムの編成や学校らしくない空間づくりを実現した、東海3県下の公立で初となる不登校特例校「そうじゅん草潤中学校」を開校します。（全国で16校目/2021年の開校は岐阜市のみ）

同学校の特別カリキュラムに対しては、岐阜信用金庫が協力し、社会における基礎となる金融教育や地域に密着した社会教育を行い、多様な個性を育む新たな学びの場を提供することで不登校生徒の主体的な社会的自立の支援を図り、未来の担い手づくりに繋げていきます。

### ■不登校特例校とは

不登校児童生徒の実態に配慮した特別の教育過程を編成して教育を実施する必要があると認められる場合、文部科学大臣が指定し、教育課程の基準によらずに特別の教育課程を編成して教育を実施することができる学校のことです。

岐阜市の草潤中学校は、「ありのままの自分を受け入れてくれる新しい形の学校」として、現在、地域一体となって開校準備が進められています。

以上